

(1) 新聞を切って貼るまで

① テーマを決める

まず、テーマを決めます。この夏に行われる大きな行事・活動に焦点を合わせてもよいでしょう。例えばオリンピックなら、日本と、あまり知られていない国にスポットを当てる、というようにします。全国高校野球選手権大会なら、大会期間の新聞を保存し、優勝チームの試合を追いかけて勝因を探るといった方法もあります。事件や事故を追って真相を知る、キーワードを決めてそれに関する記事を集める、なども考えられます。いずれにしても2週間程度は続ける必要があります。切り抜きを始める前に1週間くらい、ざっと新聞をみてテーマを決めてもいいでしょう。

② 出典はきちんとメモ

切り抜いたらすぐに、記事の余白に赤字で、日付、新聞名、朝刊・夕刊の別、版、ページ数を書き入れます。この段階での書き込みは略号でもよいです。例えば、朝日新聞=A、毎日新聞=M、読売新聞=Y、朝刊=m、夕刊=e、といった具合です。「12. 7. 6 A. e 3 (8)」。これは、「2012年7月6日、朝日新聞夕刊3版8ページ」という意味です。

③ 台紙は大きめ

記事を貼り付ける台紙は、スクラップノートや画用紙、スケッチブックなど大きめのものを用意します。

④ 貼る位置

記事の上部のみをスティックのりで仮留めします。後から化学のりできちんと貼ります。日付や新聞名などのほか、「要約」「意見」「感想」などを書くための場所を空けるようにします。小さい記事は台紙の真ん中に貼り、大きな記事は左上に寄せるといいです。

⑤ データを書き込む

記事を貼ったら、記事の下側の台紙部分に、日付・新聞名・朝夕刊の別、版、ページ数を正式名で記入します。旅行中など、自宅以外で手に入れた新聞から切り抜いた記事には入手先を書いておくようにします。地域や版によって掲載面が違っていることがあります。

⑥ 大事な部分、疑問に思ったことをチェック

記事の大事なところを蛍光ペンで塗りますが、水色、黄系などうすい色がいいです。疑問に思ったところ、分からない用語などは、赤の油性ボールペンなどで線を引きます。

⑦ 記事の「要約」を書く

記事の要約は、本文の4分の1～3分の1程度にまとめます。記事の種類がニュースか、論説・意見か、情報・知識かの違いで、記事の大事なところは異なります。一般にニュ

ース記事は前の方、論説・意見は最後の方に大事なことが書かれています。

⑧ 「意見」や「感想」を書く

自分の意見や感想は、50字以上あればよいでしょう。意見（自分の考え）の前には【意見】、感想（心に感じたこと）の前には【感想】と最初を書いて区別します。

【必要な道具】 のり（化学のりとスティックのり）、はさみ、定規（20センチ程度）、蛍光マーカー、紙、クリアファイル、スクラップブック・スケッチブック・大型のノートなど。

（鈴木伸男 全国新聞教育研究協議会顧問）